

令和5年6月3日

令和5年度 第1回居宅部会報告書

- 1 日 時 令和5年5月26日（金）10時00分～11時30分
- 2 場 所 阿南市役所 203・204会議室
- 3 参加者数 31名
- 4 議 題

連絡事項

- 阿南市在宅医療・介護連携推進事業部会長の報告
- 令和5年度阿南市高齢者お世話センターの活動について
 - ・ケアマネタイム 6月22日にひまわり会館で実施される。
 - ・法定外研修について、事例検討会12月20日、阿南市ネットワーク会議10月30日が該当とのこと。

グループでのフリートーク（意見交換）

多職種連携（訪問診療・診察拒否・災害時の医療体制などでの問題点）

- ・阿南市全体を担当しているが地域の訪問診療情報を知りたい。
- ・那賀町の医師が阿南市まで訪問診療に来てくれる可能性があるのでは。
- ・退院時における連携課題がある。
- ・ターミナルの方は増加傾向。往診可能な医師、エンゼルケアが出来る看護師などの把握。
- ・薬の服薬拒否がある。家族の不在時や急変時の対応に不安あり。
- ・看取りが可能な医師や24時間対応できることなど課題がある。
- ・看取ることができた（2件）医師から紹介依頼があり対応。
- ・看取りが可能な場合は医師と訪問看護が最初から連携しているところで行っている。
- ・病院側に相談を行うも医師の意向などを確認してくれないことがある。
- ・医療連携シートの活用も再確認する。
- ・事業所間でLINEを活用して情報共有を行っている。
- ・訪問診療等の情報は阿南在宅医療介護連携支援センターに確認。
- ・居宅療養管理指導の情報なども欲しい。

災害時（大規模地震・津波）への事業所対応の進捗状況や課題

- ・初期対応を考えているが、1票への記載は行っていない。
- ・1人ケアマネでは難しいため他事業所と連携（参考）を考えたい。
- ・ケアプラン1票への記載は努力義務。

- ・お世話センターから1票への記載が必要になることなど情報発信をして欲しい。
- ・ケアプランへの記載見本があればよいと思う。
- ・避難場所の聞き取りを実施している途中。
- ・自宅で居たい。避難しても避難所で大変な思いををすると思う。
- ・要介護5の方で車椅子とスロープを貸与し、地震対策に繋げている。
- ・避難所について説明を行っている。
- ・独居の方など避難マップを手渡している。
- ・災害時には安全な場所に避難をするように記載しているが個人名など出すことに躊躇する。
- ・地域の中で個人名を出すことに対して個人情報課題である。
- ・災害の種類によって避難方法が違うこと。

その他

○部会の在り方について

LINE登録（阿南市居宅部会）が可能な事業者はお願いをしている。部会案内や報告書、研修会の案内など周知がスムーズにできるかと考えている。基本的に部会に関することなどの案内を行うことに使用をしたいと思う。

活動の様子



報告者

阿南市サービス事業所連絡会 居宅支援事業所部会
部会長 仁木 康統 (居宅介護支援事業所 岩城クリニック)